

静岡県作業所連合会・わ

平成23年度 事業報告

今年度は、東日本大震災の影響で延期されていた連合会創立30周年記念大会が、平成24年3月10日、県下の関係者が結集のもと挙行されました。30年の歩みを振り返り、成果と課題を共有し、共生社会の実現に向け新たな一步を踏み出す決意をいたしました。

平成23年3月11日の東日本大震災は、我が国が今まで経験したことのない災害となり、被災地では多くの作業所も被害に遭いました。被災地の呼びかけに応え、連合会としては5月から10月にかけて「被災地障がい者センターいわて」に加盟事業所の職員を延べ30名派遣し、被災地の在宅の障害者の直接支援にあたりました。

また県内各地では「災害と障害者」をテーマとしたフォーラムや、被災地支援の報告会、被災作業所支援のための東北の授産製品販売会等を開催いたしました。本会としても、被災された障害のある人々の救援、作業所の復興、福祉社会の再生に可能な限りの支援を継続し、静岡県下の地域の防災体制の検証確立も今後の重大な責務であると思えます。

また、今年度特記すべきことは、年度末にすべての事業所が新体系の事業所に移行したことであります。連合会では、新体系移行後の「公的事業所としてのコンプライアンス運営」を最重要課題に掲げ、そのための態勢づくりに取り組んでまいりました。今年度5年目になる県の委託事業である「移行推進研修会」を毎月開催し、会計・労務・請求等の適正な事務遂行や法人としての人材育成戦略・危機管理・利用者の権利擁護等の態勢整備、事業の経営管理体制の検証と充実を図る研修を進め、移行後の各作業所の運営基盤の充実を図ってまいりました。今年度は、静岡県が新体系に移行した108事業所を対象に事業所現況調査（経営実態調査）を実施しましたが、新体系に移行したとはいえ個々の事業所の実態をみますと経営スキルや人材確保ではまだまだ脆弱性を残している実態も明らかになり、これらの課題解決に向け、確実にハードルを越えていく努力が求められます。県内では、障害者就労支援による給付費不正受給が発覚し、事業者指定取り消しがされるという事件が相次ぎましたが、福祉を担う事業所のごく一部でも法令違反を犯すと、社会福祉に対する市民の信頼を失うことに繋がります。故意に不正を働く場合は犯罪ですが、守るべき法令や実施すべき手続きを知らなかった・理解していないという状態も、組織や経営を危機に陥れる重大なリスクとなります。福祉事業所は利用する障害当事者の生活や生命を支えるという責任の重さを自覚し、事業の安定的な継続が常に求められます。連合会としてもコンプライアンス運営確立のための支援を継続していくことが大切です。

職員の研修については、移行推進研修会の他にも新任職員研修、施設長研修、職員

研究集会を開催しました。「東日本大震災への対応」「障害者自立支援法廃止後の新制度」「障害者虐待防止法」「相談支援体制の強化」等が今日的課題でしたが、タイムリーに障害福祉施策の動向を把握するとともに、職員としての知識、技術の向上、必要な専門性の獲得を図ってまいりました。また、昨年度発足した本人部会も、利用者支援部会の支援のもとに「第3回本人職員研修会」を開催し、交流と意見交換が行われました。

本連合会運営による就労継続支援B型および就労移行事業の多機能事業所「静岡障害者就労ネットワークセンター・キャロット」では「地域で働きたい、地域で活動したい」という障害のある人たちのニーズに応えるために、積極的に地域の障害者就労の開拓、授産活動の振興を図ってきました。今後も地域の就労支援の連携体制の確立、職場開拓や就労の場に積極的に務めていきたいと思っております。

障害者を取り巻く施策や社会状況は未だ混とんとしています。平成21年12月、国において障がい者に係る制度の集中的な改革を目指し、障がい者施策の推進に関し意見をまとめる障がい者制度改革推進会議が発足し、この推進会議の下に55名からなる総合福祉部会が設けられ、平成23年8月には「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言」（骨格提言）が取りまとめられました。骨格提言では、障がいのない市民との平等と公平、谷間や空白の解消、格差の是正等の6つの目標を新法に求めるとともに、支援の対象となる障害者の範囲や利用者負担の考え方等についても示されました。しかしながら、平成24年3月13日に閣議決定され即日国会に上程された「障害者総合支援法案」では、「①「障害者自立支援法」の名称変更、②新たに「基本理念」を規定、③障害者の範囲に難病者を追加、④重度訪問介護の拡大・グループホームとケアホームの一元化・市町村の研修啓発等」の変更にとどまり、総合福祉部会で議論が重ねられた障害程度区分の廃止やサービス体系の再編は「施行後3年を目途に検討する『検討規程』」として示されたにすぎず、骨格提言とは程遠い内容であると関係団体から批判が相次いでいます。今後国会での議論の行方に注目しつつ、当会としても現場からの声を集めながら施策提言に向け議論をすすめることが求められます。

小規模作業所は「少ない財源と人材不足、組織の脆弱性」が問題だと長年言われてきました。本年度、県により現況調査が実施されましたが、どれだけ予算を人件費に充てているかを示す「人件費率」をみますと、平成22年度実績で、社会福祉法人では65.46%、NPOでは62.66%が平均値となっています。しかし、中には50%を下回る事業所もありました。「福祉は人なり」と言われるように事業を支える最大の資源は「人材」であります。作業所の職員が、永く地域の支え手として継続して活躍できる職場環境の整備、従事者の社会的地位の向上の実現も、今後の本会が重点的に取り組む課題であるといえます。

1 役員会開催状況

実施年月日	会 議 名 〔 会 場 〕	実 施 内 容
平成23年 4月28日 (木)	第1回三役会 〔事務局〕	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の対策 募金、30周年記念企業からの協賛品について 会としてのボランティア派遣について
5月20日 (水)	第1回理事会 〔オールしずおか〕	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度事業報告・収支決算について 平成23年度事業計画・収支予算について 東日本大震災の対策について 各地区報告他
5月25日 (水)	通常総会 〔シズウエル〕	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度事業報告・収支決算について 平成23年度事業計画・収支予算について 連合会・わ組織図及び委員会の一部改正について 新規加入施設、新任施設長紹介 【行政説明】 県障害者支援局長 佐野行英 氏 【講 演】 東日本大震災被災地を視察して 副理事長 金刺幸春 氏他
7月15日 (金)	第2回理事会 〔シズウエル〕	<ul style="list-style-type: none"> 第20回表彰大会の表彰者について 小塩報恩会助成金について 各研修会について 30周年記念事業について 被災地派遣状況について他
9月16日 (金)	第2回三役会 〔ホテルセンチュ リー〕	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災第2回募金 及び第2期ボランティア派遣について
9月16日 (金)	第3回理事会 〔ホテルセンチュ リー〕	<ul style="list-style-type: none"> 各地区ふれスポ大会・表彰大会について 平成23年度障害者週間事業の実施について 東日本大震災第2回募金 及び第2期ボランティア派遣について 各地区報告他

11月18日 (金)	第4回理事会 〔オールしずおか〕	<ul style="list-style-type: none"> ・組織及び役員の選任について ・新年度予算について県への陳情 ・東日本大震災の募金状況他
平成24年 1月5日 (木)	第3回三役会 〔ホテルセンチュリー〕	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修会及び30周年式典について ・平成24年度予算について ・新役員の選任について他
1月20日 (金)	第5回理事会 〔オールしずおか〕	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度組織及び役員選任について ・慶弔規程について ・職員研修会及び30周年式典について
2月24日 (金)	第4回三役会 〔事務局〕	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度予算について ・事務局体制について他
3月26日 (月)	第5回三役会 〔ホテルセンチュリー〕	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度県受託事業について ・障害者離職対策推進事業について
3月26日 (月)	第6回理事会 〔ホテルセンチュリー〕	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度県受託事業について ・障害者離職対策推進事業について ・平成24年度事業計画及び予算、組織について

2 研修専門委員会

①利用者支援部会及び本人部会(併催)

実施年月日	会議名 〔会場〕	実施内容
平成23年 4月14日 (木)	第1回委員会 〔シズウエル〕	<ul style="list-style-type: none"> ・「私たちの声をきいて」報告書の完成 ・今年度の本人職員研修会について
6月17日 (金)	〈第2回委員会〉 合同委員会 〔シズウエル〕	合同委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・各部会長挨拶・報告 ・各部会に分かれて…事業計画 ・各部会報告
6月27日 (月)	第3回委員会 〔シズウエル〕	<ul style="list-style-type: none"> ・本人職員研修会リハーサル

6月29日 (水)	本人職員研修会 〔シズウエル〕	・当日の準備、受付、進行等
平成24年 1月12日 (木)	第4回委員会 〔シズウエル〕	・今年度の本人職員研修会の反省 ・来年度の本人職員研修会について

②就労支援部会

実施年月日	会 議 名 〔 会 場 〕	実 施 内 容
平成23年 6月17日 (金)	〈第1回委員会〉 合同委員会 〔シズウエル〕	合同委員会 ・各部長挨拶・報告 ・各部会に分かれて…事業計画 ・各部会報告
平成24年 1月25日 (水)	第2回委員会 〔事務局3階会議室〕	・ハローワーク静岡（就職支援ナビゲーター）の方を 招いての座談会

③事務・経営管理部会

移行推進研修会の委員と並行して活動(報告は8(2)参照)

3 事業推進委員会

①販路開拓・製品開発部会

実施年月日	会 議 名 〔 会 場 〕	実 施 内 容
平成23年 6月17日 (金)	〈第1回委員会〉 合同委員会 〔シズウエル〕	合同委員会 ・各部長挨拶・報告 ・各部会に分かれて…事業計画 ・各部会報告
9月 7日 (水)	第2回委員会 〔シズウエル〕	・障害者週間事業について ・県外視察、美術・工芸研修について

平成 24 年 1月 13・14 日 (金・土)	県外視察 〔滋賀県・京都府〕	・施設見学 がんばカンパニー、ハートプラザ 嵐山
2月 3日 (金)	美術・工芸研修会 〔静岡市〕	・中部地区 ラポール安倍川 駿府匠宿 ラポール川原

②情報管理・広報部会

実施年月日	会 議 名 〔 会 場 〕	実 施 内 容
平成 23 年 6月 17日 (金)	〈第 1 回委員会〉 合同委員会 〔シズウエル〕	合同委員会 ・各部長挨拶・報告 ・各部に分かれて…事業計画 ・各部会報告
7月 15日 (金)	第2回委員会 〔シズウエル〕	・機関誌「わ 63 号」掲載内容について ・連合会ホームページの掲載内容について
8月 28日 (日)	ボランティア座談会 〔オールしずおか〕	・被災地ボランティア体験者による座談会
平成 24 年 2月 1日 (水)	第3回委員会 〔シズウエル〕	・機関誌「わ 64 号」掲載内容について ・機関誌に必要な情報について

③常設店舗・運営部会

実施年月日	会議名 〔会場〕	実施内容
平成23年 6月17日 (金)	〈第1回委員会〉 合同委員会 〔シズウエル〕	合同委員会 ・各部長挨拶・報告 ・各部会に分かれて…事業計画 ・各部会報告
平成24年 1月31日 (火)	第2回委員会 〔みんなのお店〕	・駿府市開催状況と検討課題 ・店舗運営のネットワーク化 ・わの店舗活動状況

4 現況調査の実施状況

静岡県の策定した実施要領に基づき、平成22年度までに移行をした事業所を対象に運営状況、会計処理状況等の調査を実施した。

調査結果については、9月の施設長研修会（移行研修会と併催）の中で経営分析等の報告を行った。

5 啓発普及事業（単独事業）【定款第5条第3号 広報啓発事業】

(1) 第20回表彰大会

作業所を利用して、勤続10年、勤続20年、勤続30年を迎えた利用者を永年勤続者として表彰。各地区で実施した「ふれあいスポーツレクリエーション大会」の中で表彰式を行った。

(2) 機関紙「作業所だより・わ」の発行

平成23年9月に63号、平成24年3月に64号を発行した。

(3) 施設職員名簿の発行

平成23年度版を発行した。

6 民間団体育成強化事業【定款第5条第4号 補助事業】

(1) 職員研究集会等研修事業（研修専門委員会）

施設長や作業所職員の資質の向上を図り、利用者の福祉の増進に寄与するため、各種の研修会を開催した。

〈研修事業開催状況〉

実施年月日	会議名 〔会場〕	人数	概要
平成23年 6月29日 (水)	本人・職員研修会 〔シズウエル〕	123 人	<p>作業所の主役である障がいのある人たちが毎年企画する研修会、グループに分かれての討論会と本人部会メンバーによる寸劇を行った。</p> <p>①ご当地作業所の紹介 ご自慢の自主製品等を持ち寄って・・・</p> <p>②グループに分かれて 昼食 名刺交換</p> <p>③本人部会による寸劇 「地震が来た！津波が来た！そのときどうしよう」</p> <p>④グループ討論 「ともにたたくパートナーとして」</p> <p>⑤グループ発表</p> <p>アドバイザー 愛知教育大学 増田樹郎教授</p>
8月6日 (土)	新任職員研修会 〔シズウエル〕	71 人	<p>障害者への支援、作業所の運営、地域との連携、障害者の権利擁護など支援者として必要な知識とスキル向上を図るため研修を行った。</p> <p>①「私たちの想いを聴いて」 当事者 自分たちの想いを訴える アドバイザー 利用者支援部会委員</p> <p>②「作業所論」 講師 理事長 高木 誠一 氏</p> <p>③「中堅職員の語り」 東中西部各1名職員本音トーク</p> <p>④「ワカランことは何でも聞こう！先輩が優しく答えます！ Q&A」 理事長・副理事長・利用者支援部会委員等</p>

実施年月日	会議名 〔会場〕	人数	概要
9月16日 (金) ～17日 (土)	施設長研修会 〔ホテルセンチュ リー〕	169 人	<p>1日目は移行研修会との併催で管理者と経理担当者を対象に経営分析の講義を杉山先生にお願いし、2日目は今後の障害者施策の動向について厚生労働省の講演を行った。</p> <p>①行政説明 静岡県健康福祉部 障害者支援局長 佐野 行英 氏</p> <p>②講義「経営分析」 ～事業所の課題を早期発見するために～ 公認会計士 杉山 明喜雄 氏</p> <p>③報告 ～現況調査の結果と方向～ 県障害福祉課</p> <p>④講演 ～障害者施策の動向～ 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 補佐 本後 健 氏</p>
12月10日 (土)	職員研究集会 〔もくせい会館〕	129 人	<p>障害者のための権利擁護について「虐待防止」「災害時の生活支援」の視点から考える研修を行った。</p> <p>①講演1「障害者虐待防止法施行まで10カ月～何をすべきか」 毎日新聞論説委員 野沢 和弘 氏</p> <p>②講演2「東日本大震災・被災地障害者支援から」 ゆめ風基金理事・被災地障害者センター 八幡 隆司 氏</p> <p>③講演3「静岡空港からの楽しい旅」 静岡空港利用推進室</p>
3月10日 (土)	職員研修会 (創立30周年記念式典) 〔シズウエル〕	260 人	<p>昨年延期になった創立30周年記念式典と併せて職員研修会を開催した。</p> <p>①創立30周年記念式典 感謝状贈呈 元連合会役員 村井 嘉平 氏 (株)前川木工所 前川 静男 氏</p> <p>記念講演 「国際障害者年から30年、それから・・・」 NHK 福祉ネットワークキャスター 町永 俊雄 氏</p>

			②講演会 その1 郡山市障害者福祉センター 所長 小川 徹 氏 その2 南相馬市 はらまちひばり 施設長 青田 直喜 氏 ③実務者シンポジウム コーディネーター 愛知教育大学 増田樹郎教授
--	--	--	---

(2) 職員実技研修事業

授産製品の販路開拓と製品開発の参考とするため、県内、県外の現地視察を行った。

- ① 県外視察（販路開拓・製品開発部会）
 - ・平成24年1月13、14日(金、土)
 - ・参加人数 12人
 - ・大津市 がんばカンパニー
 - ・京都市 京都ほっとはあとセンター ぶらり嵐山
- ② 美術・工芸研修会（販路開拓・製品開発部会）
 - ・平成24年2月3日(金)
 - ・参加人数 34人
 - ・ラポール安倍川 駿府匠宿
 - ・ラポール川原

7 地域福祉促進事業【定款第5条第4号 補助事業】

(1) 地域交流・体育活動実践事業

地域交流ふれあいスポーツレクリエーション大会を東・中・西部地区ごとに「表彰大会」と併せて開催した。

実施年月日	開催区分	人数	開催場所	概要
平成23年 9月22日 (木)	東部地区大会	1,075 人	天城ドーム	50メートル走 パン食い競走 走 リレー アトラクション 他
10月21日 (金)	中部地区大会	1,133 人	焼津市総合体育館	50メートル走 鉄道建設競走 走 玉入れ アトラクション 他
9月9日 (金)	西部地区大会	560 人	浜北総合体育館	パン食い競走 大玉ころがし 綱引き 50メートル走他

(2) 「障害者週間」啓発事業

12月3日～9日の障害者週間を中心に会員作業所が県内各地で実施した授産製品配布による啓発事業に対し助成を行った。

8 県委託事業【定款第5条第4号 委託事業】

(1) 移行等支援員設置事業

移行等支援員2人を配置し、小規模作業所や地域活動支援センターの新制度に向けた事務研修・制度理解研修等の移行の支援業務を、県委託契約実施要領に基づき実施した。

- ・通所者の処遇を向上する業務
- ・一般就労を促進する業務
- ・小規模作業所等の運営の適正化を図るための業務
- ・必要な事項の調査、集計の業務
- ・その他、小規模作業所等の活性化を図るための業務

(2) 移行推進研修会開催委託事業

新体系移行後の事業運営に参考となる研修を中心に専門家を招いて、研修会を行った。

- ・会計手法習得研修会 5回
- ・移行後の事業定着に必要な法人運営に関する研修 7回
- ・ワンストップ相談会 2回

<移行推進研修会開催状況>

実施年月日	回数 〔会場〕	人数	研修内容
平成23年 4月23日 (土)	第1回 〔シズウエル〕	69 人	・労務一般に関する研修 (労使間でのトラブルの事例等)
5月21日 (土)	第2回 〔シズウエル〕	62 人	・障害者事業所における事故等の対応方法 ・普通救命講習及びAEDの使用法
6月18日 (土)	第3回 〔シズウエル〕	64 人	・法人運営フォローアップ研修 キャリアパス、職員教育等
7月16日 (土)	第4回 〔シズウエル〕	74 人	・法人経営に関する知識習得研修 ①福祉サービスにおける組織と運営について ②障害福祉施設における職員の賃金と処遇について

9月16日 (金)	第5回 〔シズウエル〕	169 人	・現況調査をもとにした経営分析 ・現況調査の結果と方向について
10月15日 (土)	第6回 〔ペガサート〕	50 人	・税務に関する知識習得研修 消費税、固定資産税
11月19日 (土)	第7回 〔シズウエル〕	59 人	・職員教育に関する知識習得研修 職員の育成
12月17日 (土)	第8回 〔シズウエル〕	64 人	・グループホーム、ケアホームに関する知識習得 研修
1月19日 (土)	第9回 〔シズウエル〕	58 人	・職員教育に関する知識習得研修 福祉事業所における事業計画について
2月18日 (土)	第10回 〔シズウエル〕	80 人	・就労支援事業会計の強制適用と新会計基準につ いて他
3月17日 (土)	第11回 〔シズウエル〕	81 人	・障害者自立支援法事業説明会の補足説明 及びQ&A ・就労支援事業の決算業務

<個別相談会>

実施年月日	会 場	対象者	研 修 内 容
平成23年 12月17日 (土)	シズウエル	3施設	・就労支援会計・業務一般相談会
平成24年 1月14日 (土)	ペガサート	3施設	・就労支援会計・業務一般相談会

<事業所訪問相談会>

実施年月日	会 場	対象者	研 修 内 容
平成23年 10月 ～ 平成24年 1月	東部地区	2施設	・就労支援会計・業務一般相談会
	中部地区	2施設	
	西部地区	2施設	

(3) 小規模作業所移行促進事業

移行促進コーディネーター1人を配置し、新体系に移行することが困難な小規模作業所の移行を支援する活動を行った。

- ・移行促進コーディネーターの設置 → 事務長 1人
- ・移行促進アドバイザーの活動

10 静岡障害者就労ネットワークセンター・キャロット 事業報告

1. 施設の概要

(1) 事業所の所在地

- * 就労継続支援B型事業所 静岡市駿河区豊原町 10-15
- // (カレー店舗) 静岡市葵区駿府町 1-43
- * 就労移行支援事業所(みんなのお店) 静岡市葵区駿府町 1-27

(2) 定員と在籍人数 (H・24・3・31 現在)

- * 就労継続支援B型事業所 14名(13名)
- * 就労移行支援事業所 6名(6名)

(3) 職員

- * 管理者兼サービス管理責任者 1名
- * 職業指導員 2名
- * 生活支援員 (常勤) 2名
- // (非常勤) 1名
- * 就労支援員 (常勤) 1名

2. 障害内訳

24年3月31日現在

区分	知的	身体	精神	重複	その他	計
就労継続B	2	11		(10)		13
就労移行	3		3			6
計	5	11	3	(10)		19

3. 開所日数・利用者数

[就労継続支援B型事業所]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	20	19	22	19	20	21	20	20	19	18	21	21	240
利用者数	13	12	12	12	12	12	13	13	12	13	13	13	150
延べ人数	241	208	243	208	219	219	223	210	199	198	233	235	2636

[就労移行支援事業所]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	19	22	20	22	20	21	21	19	19	21	22	247
利用者数	7	7	7	6	5	6	6	6	6	6	6	6	74
延べ人数	122	114	124	96	97	104	106	106	97	94	114	110	1284

4. 作業内容

就労継続支援B	ゼリー・焼き芋・自然食品・日用品の販売・カレー販売
就労移行支援	就労訓練・みんなのお店店舗運営業務・各種縫製品作成等

5. 生活指導内容等

両事業所	挨拶指導 月1回食事会 野外活動	投薬支援 健康診断 社会見学旅行	服装持ち物指導
------	------------------------	------------------------	---------

6. 会議及び職員研修

両事業所	毎月1回職員会議 ケース検討会議 行政機関及び連合会主催の研修会参加	保護者相談会
------	--	--------

11 その他の事業

(1) 小塩報恩会支援による事業

地区	助成対象施設		助成対象備品等	助成金額
東部	熱海市	心象めぐみ会共同作業所	大型プリンター	300,000
	伊豆市	フレンドワークかざぐるま	糸鋸、縫製用ミシン	300,000
	小山町	ワークホームアップル	喫茶店開業用備品	400,000
	沼津市	きさらぎ	ワゴン車	400,000
	富士市	吉原つくし	更衣用ロッカー	200,000
中部	静岡市	ニット工房ライク	ガスレンジ	360,000
	静岡市	グループショップ ぱれっと	エアコン	355,000
	静岡市	ありんこの里	流し台、洗面台	360,000
	焼津市	野いちご	エンドレスシーラー	525,000
西部	掛川市	まんま亭	作業所改築工事	533,300
	磐田市	サンサンいわた ふれ愛ひろばくすの木	ガス料理機、冷蔵庫	533,300
	浜松市	ワークショップくるみ	卓上型マス充填機	533,400
合 計				4,800,000

12 関係団体との共催事業等への参画

参画等の事業名	開催期日	開催会場
第12回静岡県障害者スポーツ大会 「わかふじ大会」	開会式 9月18日(日) 競技 9月3日(土)～10月2日(日)	静岡県草薙総合運動場他
第25回静岡オレンジマラソン大会	10月29日(土)	静岡県草薙総合運動場
第11回全国障害者スポーツ大会	10月22日(土)～24日(月)	山口市
第20回愛護ギャラリー展	開会式 12月15日(木) 12月14日(水)～18日(日)	静岡市民文化会館

